

新春恒例

丑年生まれ社長インタビュー

The president
interview
of sexagenary-cycle birth

(生年月日順、敬称略)

①株式会社丸勘山形青果市場

TDB企業コード：468005848
法人番号：3390001012713



座右の銘

「克己」

井上 周士

株式会社丸勘山形青果市場 代表取締役社長

生年月日 1973年(昭和48年)4月11日

株式会社丸勘山形青果市場

住 所 山形市十文字2160

電 話 023-686-6161

設 立 2012年(平成24年)2月 (創業1955年6月)

資 本 金 1000万円

事業内容 青果物卸売市場

①昨年は貴社にとってどういう年でしたか。

昨年は、新社長として代替わりの船出を切らせていただいた年でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、見通しの見えない状況下のスタートとなりました。業務系納めの落ち込みや、さくらんぼシーズンでの観光客の減少、7月には未曾有の豪雨災害など、様々なマイナス要因がありながらも、巣籠もり等の内部需要に助けられた年でもありました。

②昨年の貴社の業界はどうでしたか。

これまでの業界のキーワードは、『時短』・『簡便化』・『即食』などでしたが、コロナ禍になり『巣籠もり』・『免疫力向上』・『ネット販売』などに大きく変わりました。そして、自宅で調理をしたり、健康志向から青果物が積極的に消費される傾向にあり、またコンビニエンスストアなどでの消費から、スーパーや量販店を主体とした消費へ変わったことで増収・増益の年となりました。

③今年の貴社の業界予想は。

私達の業界の大きな課題として、毎年加速していく生産者の減少があげられます。そのなかで、弊社にとって県内外を含む約5000件の登録生産者は大きな強みです。今年も生産者と共に産地育成と商品力強化に努めます。そして、ネット販売やふるさと納税等を含む地産外消や外産外消など、多様化する販売チャネルを強化していかなければ

時代に取り残されると考えております。

④今年の景気対策、また、経営方針は。

今年の経営方針は『攻めの経営』です。ニューノーマルの状況下においてネット等の情報を駆使し、産地開拓に力を入れ、集荷力や商品力の向上に磨きを掛けて弊社の経営理念である『必要とされる市場を目指して』を忠実にお客様へ提案してまいります。また、事務作業に関しては昨年末より進めているDX（デジタルトランスフォーメーション）を強化し、発注集計や事務作業をRPA化していきます。さらに、弊社の資材のデザインを10年ぶりにリニューアルし、新しい時代に向けてより変化に対応すべく邁進してまいります。

⑤社長の今年の抱負をお聞かせください。

丸勘山形青果市場は私の祖父井上勘左エ門が初代開設者で、名前から会社名を命名しました。昨年4代目社長として就任させていただき、様々な状況がありながらも無我夢中で取り組んでまいりましたが、経営者としての至らなさや未熟さに直面する場面が多々ありました。今年は何事にも感謝の気持ちを更に強く持って行動し、自分の夢やビジョンを市場に携わる方々に熱く伝えられるように行動します。

創業者であった祖父や会社を苦勞して移転した父の想いを胸に、現会長のような経営者を目指して今年も頑張ります。